

小泉首相、萩へ

～松陰・晋作ゆかりの地を訪れる～

▽萩博物館



8月5日(土)、小泉純一郎首相が萩市を訪れ、尊敬する幕末の思想家、吉田松陰ゆかりの史跡を視察しました。現職の首相として、松下村塾など松陰ゆかりの地を訪問するのは初めてのことです。





萩博物館 (堀内)

 午後1時30分～2時10分

萩開府 400 年を記念して平成 16 年 (2004) に開館しました。維新関係の展示としては、吉田松陰とその門下生とともに、高杉晋作資料室を設け、晋作の生涯を遺品や遺墨などで紹介しています。また、長州ファイブの関連資料も展示しています。



野山獄跡 (今古萩町)

 午後0時30分～35分

萩藩の牢獄、野山獄は士分の者を、岩倉獄は庶民を収容しました。吉田松陰は海外渡航を企てましたが失敗し、野山獄に投ぜられました。松陰は1年間余りの獄中生活の間、同囚の者たちに「孟子」を講義するなど教育活動を行ないました。



松下村塾 (椿東)

 午後2時40分～3時10分

安政4年(1857)杉家の小屋を改修して講義室を作りました。これが松下村塾です。松下村塾とは、塾が立地している「松本村」の下にあるという意味です。

塾生はのべ約90人、松陰はこの建物で約1年間教えたにすぎませんが、高杉晋作・久坂玄瑞・伊藤博文・山県有朋・前原一誠・山田顕義・品川弥二郎・野村靖など明治維新を推進し、わが国の近代化の礎を築く多くの人材を輩出しました。



高杉晋作誕生地 (南古萩町)

 午後2時15分～2時30分

天保10年(1839)晋作はこの家で生まれました。晋作は14歳で藩校明倫館に入学しましたが、藩校教育に飽き足らず、19歳のときに松陰が主宰する松下村塾に入塾しました。文久3年(1863)松陰が唱えた「草莽崛起」を具現化した奇兵隊を結成しました。



吉田松陰・吉田庫三の墓 (椿東)

🕒 午後3時20分～3時25分

安政6年(1859)10月27日、安政の大獄によって江戸伝馬町の獄で処刑されました、享年30歳。墓には「松陰二十一回猛士墓」と刻まれ、松陰の遺髪が埋められています。

吉田庫三は、慶応3年(1867)、松陰の妹・千代の三男として生まれました。松陰の甥にあたり、11歳のときに吉田家を継ぎました。明治41年(1908)神奈川県立第四中学校(現在の県立横須賀高校)の初代校長に就任。庫三は性格、顔立ちともに最も松陰に似ていたといわれます。



【松陰銅像】
1968年、維新百年を記念して松陰誕生地の一角に建立。

吉田松陰誕生地 (椿東)

🕒 午後3時30分～3時35分

天保元年(1830)8月4日に萩藩士・杉百合之助の次男としてこの地に生まれました。当時の家の間取りが復元され、近くには松陰産湯の井戸が残っています。

北斗七星

市長コラム

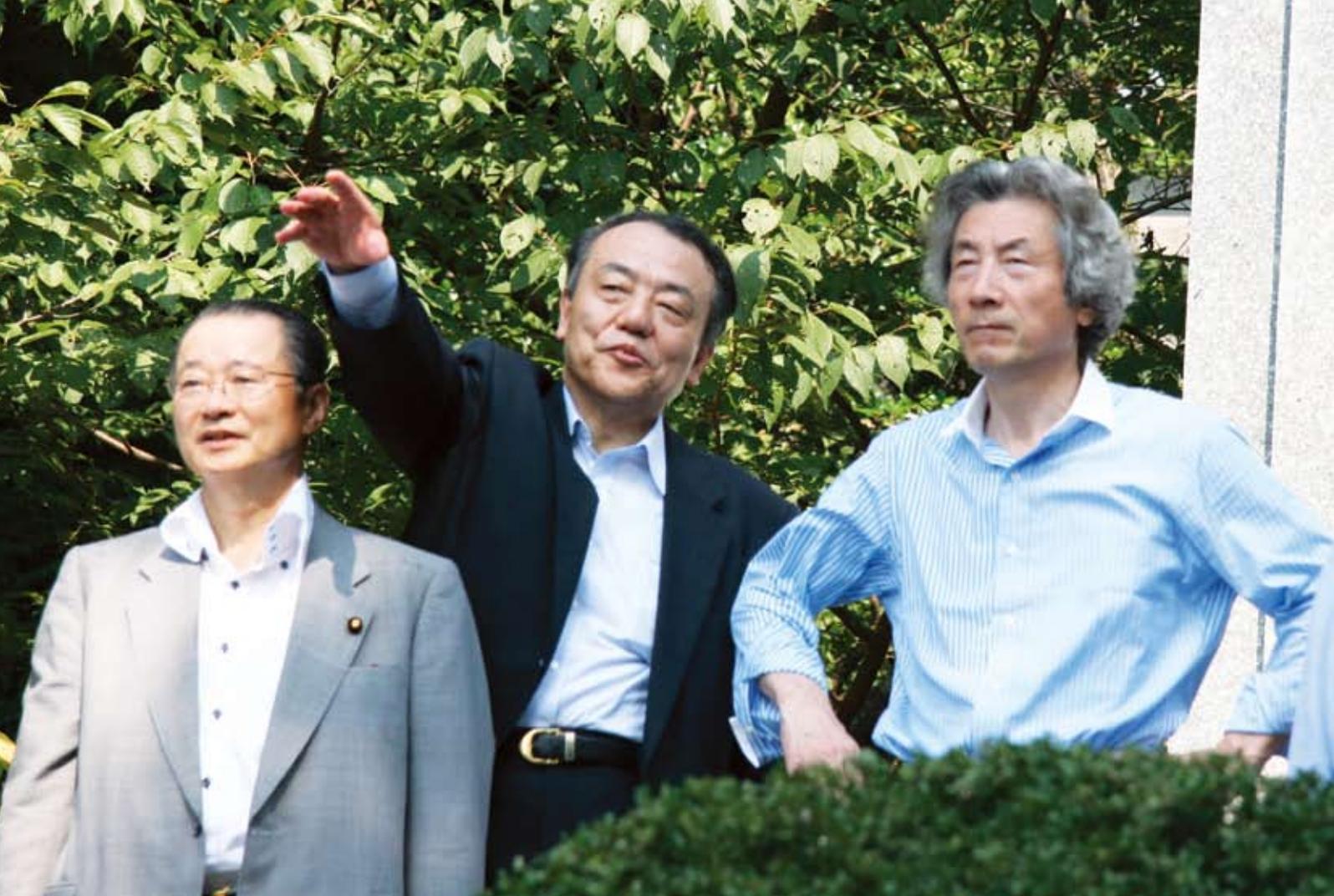
No.16

小泉総理が来萩され、松下村塾など維新ゆかりの場所を視察された。去る3月1日に総理に松陰像を贈呈した折に、総理在任中の来萩を要請したが、早速に実現したことは、嬉しい限りである。

総理は、松陰先生の言葉を引用するなど、松陰先生の信奉者。総理としては、最後となるこの一月の施政方針演説の最後のしめくくりの部分に、志ある政治家としての姿勢と想いをこめて、松陰先生の言葉である「志士は溝壑にあるを忘れず」を引用された。

市内は、松陰先生と高杉晋作のゆかりの場所ということで、野山獄、萩博、晋作誕生地、松下村塾と回られ、最後に松陰先生像と誕生地を訪ね、隣接する墓所にお参りと献花をされる。そしてその隣の吉田庫三の墓にも花を手向けられた。この側に、総理の母校の横須賀高校同窓会「朋友会」の建立した吉田庫三校長の

顕彰碑がある。吉田庫三は、松陰先生の甥で、同校の初代校長を14年間勤め、徹底した松陰教育を行う。第一回目の卒業生には、松陰遺墨の写しを手交するなどその熱心な教育振りは、今なお横須賀で伝説的に語り継がれていると聞く。校内図書館には、松下村塾で用いられた書籍等が「吉田庫三文庫」として残されている。総理は、随行記者団に対し「松陰・晋作の志を、次代を担う若い世代がしっかりと学んで欲しい」と力説されていた。萩の地の次代を担う子供達にも是非とも学んで欲しいものだ。巡られた各地において、市民の熱烈な歓迎を受けられる。警備当局からは訪問先や時間の詳細は、混乱の恐れもあるので公表は差し控えるよう要請があった。これを踏まえ情報提供は控えたものの各所で歓迎市民が殺到。かかる事情のため市民各位に詳細をお知らせ出来なかつたことをお許しいただきたい。



△野村萩市長の説明で、松陰誕生地から萩市街を望む小泉首相

小泉首相と吉田松陰

小泉純一郎首相は、今回の萩市訪問で「時代の変革者というのは、我々の想像を絶するような熱い志と苦勞をしてきたんだということがよく分かりました。この志はこれから後を継ぐ若い人たちも学ぶ点が多いと思います」と感想を述べています。

松陰の甥・吉田庫三くらぞうが校長を務めた横須賀高校出身

横須賀高校は、小泉首相の出身校。松陰の甥で、後に吉田家を継いだ吉田庫三（1867～1922）が1908年（明治41年）から旧制第四中学校（現・横須賀高校）の初代校長として14年間務めました。

庫三は、在任中、松陰の思想を説き、名校長として肖像画や胸像、庫三文庫が残されており、同校には、教育への情熱、厳しさがしつかり語り継がれています。

最初の総裁選で松陰の言葉を引用

「かくすれば かくなるものと知りながら 己むに己まれぬ 大和魂」

この言葉は、松陰が国禁を犯して渡航を企て、幕府によって投獄された際のものです。

小泉首相は、1995年（平成7年）の自民党総裁選で、

故橋本龍太郎元首相に敗れたとき、自身の心境としてこの言葉を引用しました。

施政方針演説で松陰が好んだ孔子の言葉を引用

「志士は溝壑こうかくに在るを忘れず」
今年1月20日、小泉首相が第164通常国会で施政方針演説を行い、締めくくりに述べた言葉。

幕末の時代、松陰は、この孔子の言葉で、志を遂げるためには、いかなる困難をも厭わない心構えを説きました。首相は、政治家の原点となったというこの言葉を用いて、改革への決意を強調しました。

萩市長が小泉首相に松陰ブロンズ像を贈る

1月の施政方針演説で小泉首相が松陰の言葉を引用したのを受け、3月1日、野村萩市長が首相官邸を表敬訪問。市が所有していた松陰のブロンズ像（高さ約60cm）を首相に贈りました。